

一九九三	明治二十六年
一九九六	明治二十九年
一九九八	明治三十一年
一九九九	明治三十二年
一九〇一	明治三十四年
一九〇二	明治三十五年
〃	〃
一九〇八	明治四十一年
〃	〃
一九一〇	明治四十三年
一九一三	大正二年
一九一四	大正三年
一九二〇	大正九年
〃	〃
一九二一	大正十年
一九二三	大正十二年
一九二五	大正十四年
一九二六	大正十五年

川南尋常小学校できる。荒井村館の内村組合村で荒井館の内尋常小学校をつくる。

七月一日より高田、町制を布く。

寺堀三十五年まで部落の主要道路の拡張工事を行なう。

翌三十三年まで北会津郡土性調査行なわる。

佐治幸平等の骨折りで高田橋固定橋架かる。

実業補習学校令発布、実業補習学校できる。

九月二十八日大川、鶴沼川大洪水、この年凶作になる。

川南小学校全面新築、小学校令改正、尋常科六年高等科二年となる。

寺堀四十三年までに耕地整理を行なう。

川南に実業補習学校併設。

大川、鶴沼川大洪水、これが洪水量の基礎になって今後の河川改修計画がたてられる。

蟹川橋固定橋架かる。

十三年までかかり、真渡耕地整理を行なう。

翌十一年にわたり、柳津街道改修、川崎、白山、宮の下、新屋敷新田、新屋敷までの

道路改まる。

出尻、安良田、石原、中里耕地整理を始める。十二年頃完成。

荒井村役場が下荒井にできる。

荒井信用購売組合設立。

青年訓練所できる。